

# 元気おおとよ新聞

岡山県津山市から大豊町へ  
民謡歌手の津本ゆかりさん  
をご紹介します。



つもと 寺内地区  
津本ゆかりさん

津本さんはなんと岡山を拠点に活動するプロの民謡歌手！約10年の修行を経ていくつかの民謡の全国大会で優勝を納め、現在も公演や民謡教室等、絶賛活躍中！そんな津本ゆかりさんが“なぜ大豊町に移住してきたのか？”“民謡との出会い”を興味深々でインタビューしてきました！

### ーなぜ大豊町に移住してきたのですか？

民謡の活動を続けていく中で、もう一度イチから岡山以外で民謡の活動拠点を作りたいと思うようになりました。そんな中、場所を探していたら、嶺北という地域がとても移住者の口コミが良く、地域やNPOの移住者によるサポートが厚そうで、ここなら住んでも大丈夫そうだなと思いました。嶺北の中にも4カ町村がある事を知り、調べていると、丁度、大豊町で基石茶親衛隊の募集があったんです。ココだ！と思い大豊町を拠点にする事を決めました。けっこう直感で決める事が多いですね(^\_^)

### ーどうして民謡歌手になろうと思ったのですか？

高校の卒業を控えた時の事でした。勉強が好きではなくて、周りとは違う事をしたい私は、進学か就職かという二択に縛られる高校の在り方に疑問を抱いていました。どちらのルールにも乗りたくないと思っていた中、親戚から民謡の先生を紹介されました。歌う事が好きという理由だけで私は民謡の先生の下、修行を始めたのです。勿論、修行といっても給料があるわけでもなく、逆に稽古代を払わなければなりません。民謡の稽古を受けるために、バスガイド、うぐいす嬢等の声の仕事で生計を立ててきました。

### ー民謡歌手として大豊町でやってみたい事はありますか？

私は信念を持って研究したい事があります。それは子供の民謡教室です。単に子供が好きだからというのがありますが、いずれ将来を担う子供たちを中心として民謡を伝えていければと思っています。また、大豊町を中心に嶺北の各地域に入っの小さなミニコンサートも是非やりたいです。

ちょうどカラオケで歌声を披露してもらった機会がありましたが、思わずオー！と歓声上がる程、歌声には力強さがありました。うちの子に民謡を教えて欲しい、地区の行事に来て歌ってほしいなどありましたら、是非、声をかけてあげてください。今後の彼女の活躍にこうご期待！（猪野凜）

大豊町の名物づくり  
プロジェクト

## おおとよガレット 『ジビエグルメフェスタ』に出店しました！



ゆとりすとパークおおとよで毎年開催されている「ジビエグルメフェスタ」に、今回もおおとよガレットを出店してきました！！

ヨーロッパでは猪肉やシカ肉などの狩猟によって得られた食肉をジビエと言い、高級食材として珍重されています。そんなジビエ料理もこのジビエフェスタで一般的なものとなってきたのではないのでしょうか。

この日のそば粉は元気おおとよで作ったそば粉を65%使った生地で、ジビエフェスタ限定の鹿ロールは大豊町で加工さ

れた鹿肉を使わせていただきました。

当日は快晴に恵まれましたが、例年どおり寒さと風の強い天候。そんななかお越しいただいたお客様方に一枚一枚丁寧にガレットを焼かせていただきました。その甲斐あってか当日開催されたジビエ1グランプリで3位の順位をいただきました！！沢山の有名店が並ぶなかお客様方がおおとよガレットをご支持いただいたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。これからも大豊町のそば文化を伝えるためにも頑張っていきます！（猪野大）



ご報告します！

## 『自伐型林業講演会 ～私たちの手で拓く里山の未来～』

### 大豊町で自伐型林業に関する講演会が開催されました。

去る10月30日（月）、『自伐型林業講演会～私たちの手で拓く里山の未来～』が農工センター会議室にて開催されました。町内外から会場いっぱい埋める方々にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。ありがとうございました。また、会場では、バーチャルリアリティによるチェーンソーを使った杉の立木の伐倒体験もあり、屋内ながら奇妙な臨場感があって楽しめました。

翌日は、おおとよ森援隊のメンバーが施業した山を講師の中島健造さん、宮崎聖さんに見ていただき、貴

重なアドバイスを頂戴しました。特に、作業道の作り方がカギで、そこは経験が浅いながら頑張っている佐川町の地域おこし協力隊のやり方が参考になる、ということで、後日、メンバー2名が佐川町に行って現場を視察させていただきました。

おおとよ森援隊の活動はまだ始まったばかりですが、今後、技術力の向上に努め、大豊で自伐林業をやりたい！という人たちを積極的に受け入れながら盛り上げていければと思いますので、よろしくお願ひします。  
（おおとよ森援隊 坂本）





今年もやりました！

## そば作り文化を後世に伝える そば物語「脱穀編」

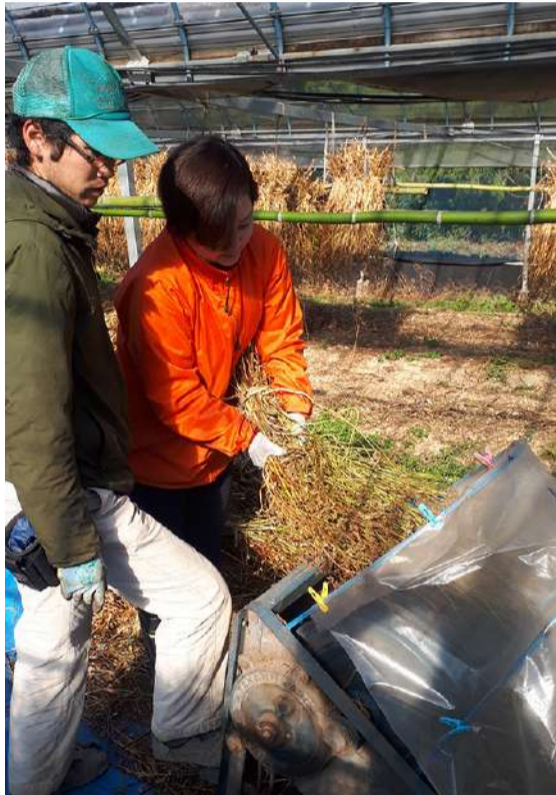


今年で二回目のそば作りもついに脱穀段階まで来ました！そば作りを後世に伝えるためのプロジェクト「そば物語」！

昨年の反省を踏まえ新しい挑戦として行ったすじまき。その結果はいかに！？とワクワクしながら、今回も多くの参加者とともに脱穀をしました。

今回も昔ながらのやり方で、脱穀機を3台、とうみを2台準備しスタート！二回目ということもあり、スムーズに脱穀が進みました。初めて参加する人も多かったですが、それぞれが協力し合い、とうみに関しては子供たちが取り合いながらやっていました。楽しそう！

お昼は理事長が腕をふるい、そば汁とお釜で炊いたご飯を！「お蕎麦ってこんな食べ方もあるんだ！」と驚き、その美味しさにまた驚き。お昼には天気が良かったこともあり梶ヶ森の頂上へ！そこで見られたのは太平洋、瀬戸内海まで見渡せる絶景！みんなで感動してしまいました。ますます頑張り夕方までに脱穀は終了！



昨年は60kgあった収量。今年の結果は……

38.5kg…！減量でした。理由のひとつは、すじまきにした分、間に草がはびこってしまったこと、そして、台風21号の影響もあり実が収穫前に落ちてしまったことだと思います。残念！

みんな汗をかき頑張ったあとは、お楽しみの忘年会！脱穀を手伝ってくれたメンバーやNPOのメンバー、地域の方達と少し早めの忘年会をしました。

料理は地域で採れた野菜やジビエ！美味しい料理と歌で盛り上がりました！

今回の収量は減量となってしまいましたが、今回もまた多くの方たちとの繋がりができ、まだまだ少しですが、来年もまた私たちの作ったそばを使うことができそうです。皆様ありがとうございました！

今年2月4日には、このそば粉を使ってそば打ち教室を行いたいと思います！みなさまお楽しみに！  
(中平)



あなたの住む集落で「貸したい/売りたい」空き家をご存じないですか？大豊町での暮らしを望む方がいます。文化・風習を継承したい方がいます。貸しても(売っても)いいという家主さんがいたら、ぜひご連絡ください！

080-8635-2253

## 「世界の強者ここに集結！」 ラフティング世界選手権2017in吉野川

皆さんご存知の通り、ゴムボートで激流を漕ぎ下る一般体験型商業ラフティング(コマーシャルラフティング)は、四国・吉野川では1990年頃より始まり、子供から大人まで大自然を体感できるアウトドアスポーツとして近年人気が高まっています。

一方、レースラフティングは、4人もしくは6人でゴムボートに乗り込み、激流をいかに早く正確に漕ぎ下れるかを、タイムで競うスポーツです。

スプリント(短距離のタイムトライアル)、ヘッドtoヘッド(2艇同時スタートによる短距離レース)、スラローム(指定された順番にゲートを通りタイムを競う)、ダウンリバー(4~5艇づつスタートし長距離でのタイムを競う)の4種目があり、それぞれの順位によってポイントが与えられ、獲得ポイントにより総合順位が決まります。パドルを漕ぐ瞬発力や持久力に加え、川の流れを読む力やチームワークなど総合的な力が試されるスポーツで、日本では1970年代より大学探検部を中心に利根川、長良川、天竜川、北山川など全国各地で大会が開催されてきました。

日本一の激流といわれる四国・吉野川は、年間を通して安定した豊富な水量と落差2mを超える瀬を含めたセクションの激しさから、世界に数あ

るラフティングスポットの中でもトップレベルの激流であるといえます。また、エメラルドグリーンに輝く川面や川底まで透き通る透明度は、多くのリバー愛好家を魅了しています。

その吉野川で、日本国内初となる『2017年ラフティング世界選手権』が10/3~9の7日間にわたって開催されました。世界中から23か国73チームがエントリーし、嶺北からは5名が選手として参加し、素晴らしい結果を残しました。

地元開催に加え、出場選手の多くが三好市在住ということもあり、徳島県三好市は歓迎ムード一色。メイン会場となった、川の駅・ウエストウエスト周辺は、連日多くの選手や応援客でにぎわい、まるで外国のような雰囲気でした。各国の選手たちは、真剣に競技に取り組みつつも、観光を楽しみ、交流を育んだことでしょう。そしてそれを支えた、地元のボランティアや各ラフティングカンパニーのスタッフ達に感謝し、無事に大会を終えることが出来た事を誇りに思います。四国・吉野川を含む自然環境とそこに暮らす人々の営みは、様々な出会い・交流を深める貴重な財産です。これからも大切に、誇りをもって後世に残していけたらと想います。(野田)



### 嶺北地域からの参加選手

- ユース女子(19歳以下)  
三好ラフティングチーム・トラクト 総合4位  
エリー・トレストン(岩原)
- オープン女子(年齢制限なし)  
ザ・リバーフェイス総合1位  
船田理恵(安野々)
- マスターズ女子(40歳以上)  
チーム・サクラ 総合3位  
野田由美子(川口)  
下川章代(本山町本山)
- マスターズ男子(40歳以上)  
R6マスターズ 総合1位  
貝本宜宏(西土居)

